

ARTOMO CASUAL Vol.2

姫路市立美術館と友の会の「今」を、かろやかに楽しむ。あーとも・カジュアル 第2号／2022年5月20日発行

◆友の会 会員限定特別企画／レポート

この秋、美術鑑賞旅行が復活！事前リサーチのもようをお伝えします。

「瀬戸内国際芸術祭2022」視察ツアー

◎2022年4月22日（金）／22名参加

雨上がりの澄んだ空気が気持ちいい早朝、姫路港からフェリーで「瀬戸内国際芸術祭2022」が開催されている小豆島へ。新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせていた美術鑑賞旅行を企画するため、現地でのリアルな情報収集、行程のシミュレーション等を実施。想定外のできごとにも臨機応変に対応しながら、作品が点在する島を楽しみました。

急な企画にも関わらず、参加者は30～80代まで22名。神姫観光バスで、福田港から一気に島の西端にある土庄へ。池田、三都半島、福田と島の南半分をめぐる。土庄では迷路の町で迷子になりながら作品を探そうち、参加者同士が意気投合。池田では昨年1年間、「明後日朝顔プロジェクトin姫路」で共に活動した喜多船長と種船に再会。三都半島では大きな作品や楽しい作品に圧倒され、作品と砂浜、海、山を眺め、境界線を確認したり、登ったりくぐったり、あっちこっちから見たりと自由にアートを体感。最後は福田港そばの福武ハウスでのんびり過ごしました。今回、再発見したのは、作品のそばまでバスで行けるうえ、荷物を置いて身軽に鑑賞できるバスツアーの魅力。島のおみやげをたくさん買い込めたり、バスごとフェリーに乗れたのもバスツアーだからこそ。クライマックスは、瀬戸内の美しい夕日。島の自然とアートに心を満たされた1日でした。（塩本由紀子）

予告

「瀬戸内国際芸術祭2022」秋の鑑賞ツアーを開催予定。お楽しみに！

現在、秋の開催に向けて「楽しいこと間違いなし！美術鑑賞旅行」を企画中。体力が不安、あわただしい旅はちょっと...と思われる方もご安心ください。バスから作品を眺めたり、観たいところだけ観てあとはバスでゆっくり休んだり、ご自身のペースで味わえる旅を楽しみませんか。詳細は決まりましたお知らせします。

◆アートプロジェクト／ご案内

2022年も、やります！海、山、まち、人、心をつなぐ

「明後日朝顔プロジェクトin姫路」アゲイン！

2021年度、日比野克彦さんの展覧会のひとつとして「明後日朝顔プロジェクト」の取り組みをたくさんお知らせしてきました。けれど「朝顔を育てることがアートなの？」と思われる方がまだまだいらっしゃると思います。正直言って、友の会企画室のメンバーにも（なんで朝顔を育てなあかんねん？）と思っていた人がいました。でも、いまはこう思っています。「『明後日朝顔』おもしろいやん！またやろ！」と。

日比野さんは語ります。「これってなんだろう？...いったいどう受け止めたらいいいのか迷ったとき、そのころの動きがアートの種なんです」と。さあ、そんなアートプロジェクトをくこころの体操>だと思い、美術館や書寫山、自宅の庭、職場などで、昨年秋に採れた明後日朝顔のタネを蒔いて育ててみましょう。

「明後日朝顔プロジェクト@みんなの美術館・姫路 2022」思い、記憶をつなぐ種をまく

美術館では、昨年から残してあるプランターに種を蒔き、2021年に育ったツルの上から新しい緑のツルを伸ばし、巻きつけていきます。交代するいのちが、目に見えるかたちで思いや記憶を日に日に重ね塗りしていく。そのとき、自分のこころがどう動くのか、みなさんとともに感じてみたいと思います。7月からは、中谷芙二子さんによる「霧の彫刻」もスタート。霧の中に浮かび上がる朝顔の花・どんな風景が生まれるか楽しみですね。（友の会会長 米谷啓和）

★「明後日朝顔プロジェクトin姫路」活動メンバー募集

◎2022年度の主な活動期間／5月下旬～11月ごろ

種をご希望の方は、友の会班長八木まで。5月21日「全国花のまちづくり姫路大会」友の会ブースでも配付します。

- ・苗植え式...詳細が決まりました、SNS等でお知らせします。当日、育てた苗と「種の履歴」をご持参ください。
- ・日々のお世話...毎日朝夕の水やりや摘芯、摘蕾、花殻摘みなど成長に応じた手しごとと一緒に楽しみましょう。
- ・花を愛でる...朝顔の開花は午前中。美術館の前庭で、全国各地から集まった明後日朝顔を楽しんでください。
- ・いのちを継ぐ...「種は船」、収穫祭で次へとつながるいのちの乗り物・朝顔の種を採ります。

お申し込み・お問い合わせ...友の会 E-mail artomo.online@gmail.com



明後日朝顔ごよみ2022（予定）

2021年秋／種の収穫 → 種蔵展示 → 2022年5月／種蒔きの準備 → 5月中旬～6月初め／種蒔き

→ 6月半ば～後半／苗植え式 → 水やり・摘芯 → 7月～／開花・水やり → 10月下旬／根切り式 → 11月／収穫祭



瀬戸内国際芸術祭 2022 視察ツアーの様子



昨年度の美術館での明後日朝顔の様子

◆アートプロジェクト／ご案内

2年目は、現代美術の杉本博司氏。

オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト

2021年度は、日比野克彦さんを招聘してさまざまなアートプロジェクトが繰り広げられました。2022年度は、現代美術作家の杉本博司さんを招聘し、美術館と姫路城と書寫山圓教寺とをつないだ企画展が展開されます。また、7月からは「霧のアーティスト」として知られる中谷英二子さんの「霧の彫刻」を美術館の前庭で展開。霧のなかの美術館、背景に姫路城。どんな風景が見られるのか楽しみです。同プロジェクトの2年目も、美術館で！寺で！城で！町で！アートを存分に楽しみましょう。

[アーティスト・イン・レジデンス]／レポート

圓教寺×杉本博司 Five Elements 五輪塔一地 水 火 風 空 鑑賞レポート

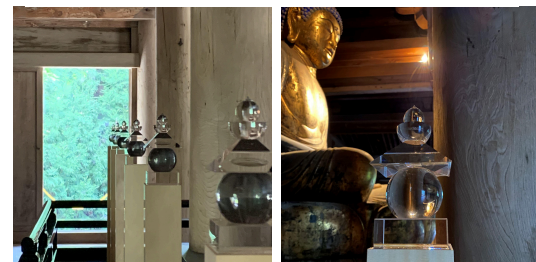
艶やかな青もみじの下、書寫山圓教寺常行堂に到着。空気が清々しい。入場料500円とある。けれども友の会の会員は企画展と同じで無料。カードを見せると「はい、どうぞ」と解説書を渡された。会員特典にちょっとホッとする。入ってすぐの仏像は、見上げる大きさ。頭部の螺髪の色鮮やかな水色が目に入る。お顔や衣の古色蒼然とした部分との違いが不思議。仏像の周りに並んだ台座の上に乗ったガラスの五輪塔には周りのものが映り込み、ひとつひとつの中に別の世界があるように見える。仏像の背に回ってみると2つの開かれた扉から見える外の景色が、黒い壁に掛けられた2枚の絵画のように美しい。ガラスの中には太い柱も、風景もそれぞれの世界を作っている。私のあとに入って来られた方がひと回りしたあと受付に戻り、「杉本博司さんの作品はどこにありますか？」とご質問。え、ここにあります!! (橋本かほる)

◎前期／2022年4月29日(金・祝)～8月31日(水)、後期／9月17日(土)～12月4日(日)

◎書寫山圓教寺三之堂 常行堂 ◎観覧料／友の会会員は無料



《光学硝子五輪塔 カリブ海、ジャマイカ》1980/2011年
小田原文化財団蔵



圓教寺常行堂での展示の様子

◆友の会 会員限定特別企画／レポート

学芸員によるリレー講座、次回は6月11日(土)

4月30日の第1回美術講座は、國富奎三コレクションの作品を見ながら近代フランス絵画を深掘りするギャラリートークから始まりました。担当は谷口学芸員。作品の修復事業で作品を額装から外したことでわかったことや、キャンバス地の裏側に描かれたことを解説してもらい、より作品に親しむことができました。作品やそれに携わる美術館業務についての質疑応答の中では、作品保存の取り組み方や、作品展示で文化の伝承や芸術の普及を図る考え方についても知ることができ、本講座を受講することで今後もいろいろな美術作品との出会いが楽しみになりました。

5月14日の第2回目は、二宮学芸員によるフォーヴィスムについての講座。フランス国内に留まらず、国境を超えた地域の絵画運動とも呼ばれたフォーヴィスムの国際的な展開がわかり、フランス近代美術に親しむ時間となりました。

第3回目は、6月11日に開催。担当は高瀬学芸員。友の会 美術講座ならではの、新しい美術の楽しみを発見できます。みなさまのご参加をお待ちしています。(青田美智江)

*参加ご希望の方は、事前に友の会へご入会ください。



第一回美術講座の様子

名画の思い出をアルバムに！

國富奎三コレクション室(常設展示室)のモネ、ユトリロ、ロダンなどの作品の写真撮影ができるようになりました。お気に入り作品の感動のワンショットをお楽しみ下さい。 ※一部撮影ができない作品もあります。撮影は私的利用に限り許可されています。

ご案内&予告

<p>◆コレクションギャラリー 濱田観 花鳥画の世界 ◎2022年6月19日(日)まで</p> 	<p>◆企画展示 野田弘志 真理のリアリズム ◎2022年7月2日(土)～9月4日(日)</p> 	<p>◆オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト／庭園アートプロジェクト 中谷英二子 霧の彫刻 ◎2022年7月中旬～2023年3月12日(日)</p> 
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

募集

2022年度 友の会 会員募集中！

ぜひ、一緒に、思い思いにアートを楽しみませんか。様々な特典がありますので、展覧会や各種講座等にお越しの際は会員証をご提示ください。

◎会員期間／2022年4月1日～2023年3月31日

◎年会費／普通会員...3,000円、学生会員...1,500円 ※10月1日以降ご入会の場合は半額

◎主な特典／①常設展、企画展の無料観覧 ②美術鑑賞旅行など会員限定イベントのご案内 ③図録の割引購入

④カフェでの飲食が2割引に ⑤姫路文学館、兵庫県立美術館、神戸市立博物館が団体割引料金に

※企画展(計4,100円)+常設展が、3,000円で何度でも観られます。2022年度は、書寫山圓教寺での展覧会も観覧無料！

※お問い合わせ...姫路市立美術館友の会(TEL・079-222-2288)まで



姫路市立美術館 友の会ニューズレター「ARTOMO CASUAL」第2号

発行日...2022年5月20日

発行者...姫路市立美術館友の会 企画室(姫路市立美術館内)

・編集／青田美智江、大西忠良、米谷尚子、米谷啓和、塩本由紀子、東海有紀、二階堂薫、西尾章子

・執筆／青田美智江、米谷尚子、米谷 啓和、塩本由紀子、橋本かほる

・撮影／喜多直人(写真家、明後日朝顔プロジェクトin姫路)、青田美智江、米谷啓和、塩本由紀子、山口玲子

Mail...artomo.online@gmail.com、最新情報...https://m.facebook.com/artomo.online/



あーともオンライン

検索

* ARTOMO CASUALとは...姫路市立美術館 友の会・ARTOMO(あーとも)は、美術館を愛し、アートをオープン&日常的に親しむためのコミュニティ。美術館と友の会をリアルタイムでつなぎます。

本紙の無断転載を禁じます。All rights reserved. (C) TOMONOKAI, Himeji City Museum of Art, 2022 (C) The Artists and the Authors, 2022